

透明で健全なメディア社会を作っていく親と子どものための手引き



親子で作る メディアガイドブック

キリスト教倫理実践運動

透明で健全なメディア社会を作っていく親と子どものための手引き

親子で作るメディアガイドブック

執筆者

カン・ジョンファン、カン・ジング、キム・ジテ、ムン・ジェジン、パク・ジュンヨン、
ペク・キヨン、ソン・ヘリョン、チュ・テファ

発行所

キリスト教倫理実践運動

発行日

2004年10月

発行人

チュ・テファ

住所

ソウル市龍山区漢江路1街217世代ビル4階

電話番号

02-794-6200

印刷/製作

図書出版コリアヘラルド

挿絵

ファン・ヒョンオク

デザイン

ホン・ハミ

この資料集は放送委員会の後援により製作されたものです。



contents

04

我が家のメディアとテレビ視聴チェックリスト
テレビ使用実態/中毒程度

参考資料/コミュニケーションの道具としてのメディア

08

テレビ視聴日記

参考資料/健全なテレビ視聴方法及びマンガモニター
参考資料/テレビマンガの中での大人たちに対する描写

12

テレビの中の家庭

参考資料/ステレオタイプ、PPL（間接広告）

16

広告を読む、公益広告を作る（4コママンガ）

20

手紙で会話する、
テレビ番組を真似する

参考資料/春川市は最近日本人でいっぱいである。

24

代案文化紹介

美術観覧、映画観覧、演劇観覧、テーマ旅行、ボードゲーム、書店に行く、文学活用



コミュニケーションの道具としてのメディア

社会が複雑になるにつれ、ことばは様々な違う形で表現される。メッセージ、コミュニケーション、放送、伝言、会話など、ことばの意味が多様に使用されている。この中で最近コミュニケーションという表現が有意義に使われている。なぜなら多様な言葉の通路であるメディアが発達しているからである。私たちは祈ることで神と会話をするが、人間はこのメディアを通じてお互いの考えと意思を伝える。しかし、このように人との会話がメディアを通じてだけ成り立っていることから、予想外のさまざまな問題点が浮き彫りになっている。それは神と会話する時に見られる誠実さが人との会話の中でだんだん見られなくなったということである。つまり、決まった言葉だけを交わすようになったのだ。この現象は家族間の会話でも深刻な問題になっている。ここで、私たちはコミュニケーションとは何なのか、その意味を改めて考えてみる重要な課題になっている。コミュニケーションということばには1) 伝達する2) 知らせる3) 教育する4) 交通という意味がある。コミュニケーションに含まれているこの意味、すなわち伝達し、知らせ、教育するのに必要なのがいわゆるメディアである。このメディアは主に文字、書籍のことを指すが、最近は放送と通信メディアの発達により、主にテレビまたはインターネットのことを指すようになった。テレビは何人かが一緒にみる大衆メディアであり、インターネットは個人が使用する個人メディアである。このメディアは人間が生きていく中でなくてはならない付属品になった。しかし、問題はこの付属品が大きい問題を起こし、本体の機能を時々脅かすようになったことである。家族間の会話をなくし、同時に世代間の葛藤を呼び起こすなど、メディアが本領のコミュニケーションを歪曲し、さらに破壊させているのである。

このような問題によって私たちは家族間、世代間、コミュニケーションをより豊かにするための道具としてメディアを作らなければならない切迫な状況におかれている。そして家族という共同体の中でこのメディアを通じたコミュニケーションを復元する努力が必要である。ここにその方案をあげたいと思う。私達が暮らす家にはマスメディアと個人メディアが共存している。私たちは長い間このマスメディアを馬鹿箱として扱ってきた。馬鹿箱という表現から分かるように、見てはいけない、不良な、悪い、黒い箱としてテレビを扱ってきた。まるでゴミ箱のように、私たちはこのゴミ箱のようなものを食器のような私たちにとって有用なものに変えなければならないのである。食料を入れ、みんなが使用するものに作り直すのである。その方法の一つは、一週間に一回はテレビを家族みんなで見ることである。リビングをコミュニケーションの広場とし、家族の交通を促すようにするのである。私たちはコミュニケーションに含まれる交通の意味を今家庭の中で復元させる努力をしなければならない。マスメディアを怪物でなく、家で一緒に暮らすかわいいキャラクターだと考えなければならない。デジタルメディアは社会と家庭の中に入ってきている、避けられない時代の流れである。この流れをうまく受け入れるためにインターネットを家族間の会話の手段とする訓練をしなければならない。家族の間でも直接話せないことがある。その時にはまるで神にお祈りするように見ないで話せる空間が必要である。インターネットはこのような空間である。これを家族ネットとして利用する知恵が必要である。神もお言葉でこの世を創造されたように、家族間でメディアを利用してコミュニケーションを創造しなければならない。この二つの方案を実践してみよう。

この小さい本がこの方案を信頼し、自信を持つのに最も必要な道具になることを疑わない。この小さなスタートが大きいメディアの波を作るのに使われることを願う。

キリスト教倫理実践運動文化消費者運動本部運営委員
ソングングァン大学新聞放送学科教授 ソン・ヘリョン

1

我が家のメディアと テレビチェックリスト

目的

私たちはメディアと共に生きている。しかしあまりにも近くにあり過ぎて意識できずに生きていることが多い。まず、私たちの家庭にメディアがどの位あるのかを調べて、家族それぞれがどんなメディアを主に使用しているのか把握することが目的である。

さらに、テレビ視聴チェックリストを通じて、自分のテレビ視聴習慣を自ら診断し、改善すべき点について考えることを目的とする。

準備物

活動紙1,2,3

一.

‘我が家のメディア’ マインドマップを書く。(活動紙1)

- 楕円形の中にある‘我が家のメディア’を中心に我が家にあるメディアをマインドマップで表現しながら書くようにする。

- 我が家にあるメディアを全て書くようにする。

例) テレビ、インターネット、ラジオ、新聞、雑誌

二.

家族が個人的に使用するメディアについて考える。(活動紙2)

- マインドマップに書いたことを中心に家族が最も使用するメディアは何であるか書くようにする。

- 家族それぞれ自分が書いた内容について述べるようにする。

- 家族それぞれが書いた内容と自分が書いた内容との間に違う点があったら発表させる。

三.

もしメディアがなかったらどのように生きているだろうか。(活動紙2)

- メディアがなかったら家族たちはどのように生きていだろうかについて推測して書くようにする。

- 自分が書いた内容を家族のみんなに発表する。

四.

テレビ使用実態について把握する。(活動紙3)

- テレビ視聴チェックリストにテレビ使用実態を記録させる。

- 家族がもっとも多く使うメディアは何か書いてみよう。

私との関係	主に使うメディア	メディアを使って何をするのか？ (テレビの場合、番組名を書くこと)
父		
母		
私		

- もしメディアがなかったら、家族たちはどのように生きているだろうか、書いてみよう。



テレビ視聴チェックリスト

	項目	はい	いいえ
1	斜めに横になってテレビを見ていて、親に叱られたことがある		
2	テレビを近くで見る		
3	腹ばいになったり、横になってテレビを見る		
4	夜遅くまでテレビを見ていて、宿題ができなかった		
5	テレビ番組、またはコマーシャルでの流行語を真似したことがある		
6	好きな芸能人と同じ服を買ってくれと親にせがんだことがある		
7	テレビコマーシャルでの商品を買ってくれと親にせがんだことがある		
8	テレビを見る時、リモコンを手の届く所に置いて（あるいは手に持って）見る		
9	自分が見たい番組を見るために家族の誰かとけんかしたことがある		
10	学校から帰ってきて、すぐテレビをつける		
11	宿題の途中、または授業中にテレビの内容を思い出す時がある		
12	朝テレビを見ていて遅刻したことがある		
13	ご飯を食べる時、テレビを見ながら食べる		
14	家族と話をする時も、テレビをつけたままである		
15	テレビを見るときは何もしゃべらない		
16	テレビを見る時間が長いと親に叱られたことがある		
17	日曜日は一日中テレビを見ている		
18	あらかじめ見る番組を決めずにテレビをつける		
19	テレビを見ていて誰かが自分を呼ぶ声が聞こえなかった時がある		
20	晩ご飯の時から寝るまでテレビがつけっぱなしである		

● 評価（‘はい’ と答えた数を基準としてチェックしてください）

0	とてもよいテレビ視聴習慣を持っています。
1～5	比較的良好な視聴習慣を持っています。
6～10	テレビ視聴中毒になる可能性が多いです。 良い視聴習慣を身につけるように親と一緒に考えてみましょう。
11～20	間違った視聴習慣を持っています。 テレビを見る前に何を見るのかを決めて、家族と一緒に視聴習慣を直すように努力しましょう。

2

テレビ視聴日記を書く

目的

先週一週間視聴したテレビ番組の中で一つを選び、テレビ視聴日記を書くようにし、家族がアドバイスをし、家族がアドバイスをしてあげながら正しい視聴態度を持つようにさせる。

テレビアニメーションのモニター活動を通じてテレビアニメーションの効果と逆効果を判断できる力をつける。

準備物

活動紙1,2

参考資料

テレビアニメーションをモニターする要領

一.

テレビ視聴日記を書く（活動紙1）

- 昨日、あるいは先週見たテレビ番組の中で一つを選び、テレビ視聴日記を書くようにする。
- テレビ視聴日記を書く際には必ず番組の感想を書くようにさせる。

二.

テレビ視聴日記を読んでアドバイスのことばを書く（活動紙1）

- 家族が書いたテレビ視聴日記を読んでアドバイスのことばを書いてあげるようにする。
- 戒めや叱責する言葉よりは励まし、褒める言葉を書いてあげるようにする。

三.

テレビアニメーションをモニターする（活動紙2）

- テレビアニメーションを家族と一緒に視聴する。
- テレビアニメーションの内容（あらまし）を書くようにする。
- テレビアニメーションを見て面白かった点と面白くなかった点を書くようにする（その理由も書くようにする）。
- テレビアニメーションをモニターする方法を説明する。

テレビ視聴日記を書く。

- 昨日、あるいは先週一週間に見たテレビ番組を中心にテレビ視聴日記を書いてみよう。(感想も必ず書いてみよう。)



2004年 月 日 天気

視聴した番組名

- 家族は上の日記を読んで、アドバイスのことばを書いてみよう。

テレビアニメーションをモニターする

- テレビアニメーションを家族と一緒に視聴してその内容を書いてみよう。



- テレビアニメーションを見た後、おもしろかった点とおもしろくなかった点についてそれぞれ書いてみよう。

おもしろかった点

おもしろくなかった点



テレビアニメーションの中での大人に対する描写

テレビアニメーションは私たちに夢と希望を与えてくれる。たくさんの人々はアニメーションを見ながら自分自身の未来に対する夢を抱き、たくさんの想像力を発揮したりする。それではテレビアニメーションは私たちに良い面だけを見せてくれているのだろうか。

テレビアニメーションの中で描かれる大人たちの姿はほとんどが否定的なものが多い。どこかさっぱりしない、素直でなく、子どもたちに対する信頼が足りず、いつも問題や事件を起こす人として登場する。そして、このような問題をいつも解決するものとして登場するのが子どもたちである。

例えば、子どもたちに人気のある「クレヨンしんちゃん」というアニメーションでも大人の役として出てくる幼稚園の先生は大人という立場上、しっかりしているふりをするが、実際はいつもミスをして、子どもたちからかわれる役として登場する。このように、アニメーションの中で大人たちは子どもたちのなぶり物として描かれたりする。そして子どもたちは親や大人たちの助けを期待しないようになり、子どもたち自らが事件を解決したりするのである。

このようなテレビアニメーションを見る子どもや青少年たちは、自分にある悩みや問題があった時、大人たちに打ち明けることができなくなる恐れがある。さらに、親や大人たちに対するイメージが否定的に変わり、子どもや青少年たち自らの考えが大人たちの考えより正しいと考えるようになるかもしれない。

私達が住んでいる世の中の大人たちの中では私たちが子どもや青少年たちを心から愛し、私たちのために献身する大人たちが多い。特に親は私たちを生んで育て、私たちを誰よりも愛してくれる人である。

また、大人たちは私たちよりも長く生き、その中で経験から得た知識や知恵が豊富な人であると同時に、大人たちも私たちのように幼少時代、青少年時代を生きてきた人たちである。したがって、私たちの心をよく理解し、助けてくれる人たちなのである。



きれいなメディアのための教師運動代表、
クァチョン高等学校教師 カン・ジョンファン

3

テレビの中の家庭

目的

テレビドラマはステレオタイプでいっぱいになっている。これは多くの人がドラマの内容に簡単に慣れるようにするためである。しかし、ますます共働きが増える社会の中で男女の仕事の内容が区別されるということはお互いにとって大変なことであろう。これは大きくなる子どもたちにとってもこのような価値観は決して良いとは言えない。

ここではテレビの中の家庭を通じてステレオタイプを克服し、正しい価値観を形成させることを目的とする。

準備物

活動紙

参考資料

ステレオタイプ、間接
広告

- 一.
テレビの中の家庭を見る（活動紙）
 - テレビで放送されるドラマの中で一つを選ぶようにする。
 - ドラマでの登場人物の役とその役における意味について書くようにする。
 - ドラマの内容をマインドマップで表現するようにする。
 - 書いた内容を家族たちの前で発表する。
 - ステレオタイプについて説明してあげる。

- 二.
改善されたドラマを書く（活動紙）
 - もし自分が作家なら家庭をどのように描写するかを考えながら、改善されたドラマの内容を書いてみるようにする。
 - 家族たちに自分が書いた内容を発表する。
 - ステレオタイプを克服した内容があったらほめてあげ、世の中の偏見を克服することの大切さを教える。

テレビの中の家庭

- テレビで放送されているドラマの中から一つを選び、その中で家庭がどのように描写されているのか書いてみよう。

ドラマ名	放送局
ドラマのあらまし	
ドラマの登場人物	
ドラマの内容を マインドマップで 表現する。	
ドラマの家庭と 現実の家庭を 比較してみる。	

- 自分がもしドラマ作家ならどのように家庭を描写するだろうか考え、ドラマの内容を直して書いてみよう。

ステレオタイプ

Stereotype, Stereotyping

ステレオタイプとは特定の文化の中で、メディアなどによってあらかじめ有形化され、社会的に共有された定型的な考えやイメージのことである。普通、映画やドラマに登場する役柄に慣れ親しんだ人物の類型を指す言葉としてよく使われるが、例えばドラマや映画に登場する美しくて可憐なヒロイン、太っていて頓着な落第生、いつも小言を言う姑などがその代表的な例だと言える。

短い時間で話を展開しなければならないドラマでは、登場人物のキャラクターを分かりやすく説明する為にこのステレオタイプをよく使うが、子どもたちがこのステレオタイプを受け入れるようになると、人を外観や性別、特定集団(例：姑、継母、太っている人)に対して先入観を持つようになる。ステレオタイプに影響されないようにテレビの中で見られるステレオタイプと現実を比較しながら、定型化された観点を捨てるように指導しなければならない。

「地球村風物紀行」のような民俗地学的ドキュメンタリー番組などでは、一般的に慣れ親しんだ西洋イデオロギーによって、他の文化に対して一定の距離をおいて異国的で原始的なものとして扱い、彼らの生活は劣悪で未開なものであるという固定観念をそそのかす。ドラマの中では父は亭主関白の持ち主としてよく登場し、女性は主に興味を示すものとして男性、外観、結婚に固定されているが、このような支配的な役割の区別はステレオタイプの典型であると言える。



間接広告

PPL, Product in Placement

PPLとは、映画やドラマの小道具として登場する商品のことをいう。PPL広告はこのような小道具を特定会社の製品に代替することで会社側としてはブランドのイメージを高め、映画会社としては映画制作に必要な制作費や商品を提供してもらえるというメリットがある。その一方で、特定商品を意図的に目立たせ、過度な間接広告をする場合、映画の観客やドラマの視聴者たちに逆効果があるということが欠点として指摘されている。

ドラマの中の間接広告は、もう衣装などの単純なものを超え、特定企業が主な舞台になり、特定商品が話のキーポイントとして登場する段階にまで発展した。この過程での企業からの協賛を受けるかによって企画段階で設定された主人公の職業、さらには話の展開まで変わる問題まで起こっている。

外注製作が増えるにつれて制作費の絶対的な不足はPPLをさらにそそのかした。放送局が外注製作社に支給するドラマの制作費に比べてドラマの制作費は法外に足りなく、これを企業の協賛に対処することでPPLなくしてはドラマの制作自体が不可能なのが現実である。

SBS「パリの恋人」の‘GD自動車’とテヨンが働く‘CSV’はそれぞれ‘GMテウ’とマルチプレックス映画館‘CGV’のPPLであることを推測することは難しくない。MBC「皇太子の初恋」は世界的リゾートグループであるクラブメドの協賛で第1話の設定から主人公たちの職業を‘クラブメド’の系列会社である‘G.O’と設定して反感を呼び、バリ島、タヒチなどのクラブメドのリゾート地を宣伝するようにまわりながらドラマの撮影をし、各放送委員会の警告を受けた。



4

広告を読む

目的

テレビで毎日見られる広告を何気なく見ながら、資本主義論理に染まっていく子どもたちに広告の中に隠された経済原理を見つけ、このような広告を正す活動をするのが目的である。

準備物

活動紙1,2

一.

テレビ広告を読む（活動紙1）

- 一週間以内に放送された広告を20編以上続けて録画する。

週末ドラマの前後の広告、または人気ドラマの前後の広告が望ましい。

- 一つのテレビ広告を選んで、それを一時停止しながら見て、嘘または偽った行動を探して書くようにする。

例) 嘘—ベットは家具ではありません。化学です。

- 広告を10編続けて記録しながら視聴する。

- 広告主は何故うそを使って広告を作るのか、その理由を推測して書かせ、そのような広告を見た感想を書くようにし、それを家族の前で発表するようにする。

二.

私が作り直した広告（活動紙2）

- 嘘、または偽った行動が入った広告を子どもの視点で直すようにする。

- 自分が作った広告を家族に紹介する。

- 家族はその広告を見て、感想を言う。

広告を読む



- テレビ広告を見ながら、うそまたは偽った行動を探して書いてみよう。

広告商品名	うそ	偽った行動

- 10編の広告を視聴した後、広告主はなぜうそを使って広告を作るのか、その理由を推測して書いてみよう。

私を作り直した広告

- 広告を一つ選び、正すべきうそ、または偽った行動を書いてみよう。

広告名

うそ

偽った行動

正す

活動紙

2

● 私が直した広告コンテ（広告をコンテにしてみよう。）

場面

ナリフ & 解説

5

手紙で会話する

目的

子どもが成長するにつれて家族間の会話はだんだん減り“勉強しろ”“もういいかげん寝たら”などの日常的な会話にとどまるようになる。

ここでは大人たちが見てはいけないという番組を何故見なければいいのか説得する内容を子どもたちが書き、大人たちは返事を書くことで会話する機会を持ち、また、子どもが見たいと思うテレビ番組をインターネットVODを通じて一緒に視聴し、その中の一つをパロディーしてみながら家族の間で文化を共有することを目的とする。

準備物

活動紙1,2
インターネットVOD

参考資料

「冬のソナタ」の新聞記事

一.

手紙で会話する（活動紙1）

－親によって見ることを禁止されているテレビ番組を何故見なければならないのか、説得する手紙を子どもに書くようにさせる。

－親は子どもの手紙を読んで、子どもの心を察する意味の返事を書いてみよう。

二.

テレビと一緒に視聴して、それを真似する（活動紙2）

－子どもが見たいと思っているテレビ番組を、インターネットVODを通じて一緒に視聴し、その内容の一部を家族が代役演技をして真似してみる。



手紙で会話する

- 親に見ることを禁止されているテレビ番組をなぜ見なければならないのか説得する手紙を書いてみよう。



A large, empty white rectangular box intended for writing a letter.

- 親は手紙を読んだ後、返事を書いてみよう。

A large, empty white rectangular box intended for writing a reply letter.

テレビ番組を真似してみる

- 子どもが見たいと思っているテレビ番組をインターネットVODと一緒に視聴して5分程度の分を家族で模倣公演をしてみよう。親たちが理由も言わずに見てはいけないというような指導よりは子ども自らが番組を判断して見るように指導する。

番組名

放送局

放送日

放送台本



春川市は最近 日本人でいっぱいである

都心の明洞は午後4時が過ぎると日本人が10%以上になる。さらに、午後6時以降の明洞ダッカルビ通りはもっと多く、日本人が20%にいたる。お昼休みを前後としてチュンサン（ペ・ヨンジュン）が高校時代を送った春川市ソヤン路2街90-7チャ・クムソン（63）氏の離れ座敷たくさん日本人が押し寄せる。21日午後3時、約12坪のこの部屋は日本人足の踏み場がなかった。まるで慶州仏国寺を訪れた修学旅行の団体を思い出される程である。

彼らはピアノの前に座って冬のソナタの主題歌を演奏したり、ソファに座ってチュンサンがしたように受話器をとって‘ヨボセヨ’と言いながら昂奮したりしていた。また、チュンサンが使ったコップでお水を飲んだり、チュンサンのベッドに横になって記念写真を撮ったりした。

娘と一緒に日本の三重県から来たという山岡ノリコ（女・68）氏は“ドラマで見たのと全く同じだ”と感激しながら観光客用として部屋の中に置いてある韓服を着て記念撮影をした。山岡氏は“20話となって発売されたDVD全集を買って7回見た”と言い“ストーリーもいいが音楽もとてもいい”とほめていた。山岡氏の娘の下津ヒサコ（32）氏は“ここに来たらヨン様（ペ・ヨンジュン）のにおいがするようだ”と言い、“冬ソナ（冬のソナタ）は特に雪景色が印象的だ。冬にもう一度来たい”と話した。下津氏の友人の竹内ミナコ（32）氏は“私はヨン様（ペ・ヨンジュン）も好きだが、ユジン（チェ・ジウ）もとてもかわいい”と言いながら、“ユジンが大通りに走り出てバスを止める場面がとても印象的だった”と話した。

春川市庁観光課に雇用され、6月23日からここに派遣されたチョン・ヨンラン（41）氏は、“一日平均300人程度が訪れている。多い時は400人以上訪れる場合もある”と話した。チョン氏は“私には狭いだけであまり見るものもなさそうに見えるが、日本人たちはこの部屋に入ると歓声をあげながら感激する”と言い、“最初は少し理解できなかったが、時間が経つにつれて最近では彼らの姿を見ながら私も毎日感動している”と話した。彼らを引率してここを訪れた韓進旅行社の旅行ガイドのムン・インヨン氏は、“日本人がここに来て直接見てがっかりすることはないのか”という質問に、“あるがままの飾らないところが彼らにさらなる感動を与えている”とし、“中年層にはここがドラマの撮影現場であるナミソムよりも人気がある”と話した。春川市庁はここに日本人観光客が押し寄せるようになってから一時はここを直接買い取るか、あるいは借りて観光地にする計画を立てたが、家主がそれを頑固に拒否することで離れ座敷だけを借りて観光地として開放した。そして通訳1名とボランティア2名を常駐させている。また、日本人がたくさん訪れる明洞繁華街の清潔作業にも力を注ぎ、ビラ5万枚を配った。

キム・チャンウ記者 cwkim@choson.com 朝鮮日報7月22日

偏見を捨てれば 美術が身近に感じる。

第一の偏見—観覧料が高い

仁寺洞にあるギャラリーのほとんどは無料で観覧することができます。最近いくつかのギャラリーで入場料をもらうようになりましたが、その料金はだいたい三千ウォン未満です。国・公立美術館は千ウォン未満です。

第二の偏見—美術はむずかしい

美術館のガイドプログラムや展示案内プログラムが行われる日程を選んで、説明を聞いてから鑑賞すると、よりわかりやすく美術を理解することができます。

第三の偏見—美術は特定階級のためのものである

現代美術は特定の人だけでなく、より多くの人に親しんでもらうために努力をしています。様々なテーマの展示会を自分の好みで選んで訪れてみてください。自分だけの視点を見つられる重要なきっかけになるでしょう。

第四の偏見—美術は天才的才能を持った芸術家たちのものである

美術作品は芸術家の手を離れた瞬間、もう芸術家のものではありません。芸術作品は芸術家の手を離れる瞬間から観覧者と共に“第二の人生”を送るのです。芸術作品が自分自身を通じて新たに解釈され、新しいもう一つの創造の世界を味わってみてはいかがでしょうか。

第五の偏見—私は子どもの頃から美術は下手で苦手だった

私たちの学校で行われている美術教育はあまりにも実技中心の教育に偏っていて、美術を鑑賞する方法に関する教育は行われていません。美術は創作する人だけでなく、創作された作品を見る人も楽しませることができるのです。

第六の偏見—無名な芸術家の展示はつまらない

わが国の美術鑑賞者は極端に有名な海外の芸術家の展示—当然高い入場料を払います—に多く訪れる反面、そうでない展示にはあまり訪れません。これは多くの芸術家たちを支援し、様々な芸術の発展を妨げる大きな要因になっています。

第七の偏見—展示会に招待されると花束や賛助金を用意して行かなければならない

知り合いの芸術家から展示会に招待されたら、花束や賛助金の代わりに気に入った作品を選んで作品の値段を聞いてみてください。若い芸術家の場合は手頃な値段で作品を買うことができ、それによってあなたはその芸術家に何よりも大きなプレゼントをしたことになるのです。

第八の偏見—現代美術は反キリスト教的だと言われているが、、、

確かにある特定の芸術家の作品は反キリスト教的ではありますが、しかし、全ての現代美術がキリスト教を反対するものではありません。むしろ、キリスト教徒に対して創意的で人生の喜びを教える現代美術も多くあります。チャンスを逃さないでください。

テレビ視聴と映画鑑賞の相違点

よく週末の夕方にテレビで放送される映画を見ることに慣れている私たちは、映画館で映画を観ることとテレビを見ることはほとんど変わらないと考えがちです。しかし、テレビが家で他人に気を使わずにラフな格好でチャンネルを回しながら見る私的な行為である反面、映画鑑賞は観覧費と交通便、さらに、どんな服装で行くのかなどを改めて計画して他人と一緒に見る公的行為に近いです。内容中心に映画を観るアナログ世代とは違い、デジタル世代が映画鑑賞そのものだけでなく、それに続く食事やお茶、または映画館周辺での買い物あるいはウィンドウ・ショッピングなどの行為までを映画鑑賞であるという体験中心の価値観を持っています。したがって、テレビから離れてデジタル世代と一緒に映画を観ることが今の時代において最も簡単で有意義な文化生活になるのです。

1. 準備

(1) 映画の選択

ア.どのような映画を観るかを決めます。

家族と一緒に新聞や雑誌に載っている広告などを参考にして何を観るかを決めます。意見が一致しない場合は最終的な決定は家族それぞれが決めてもかまいません。

イ.誰と観るかを決めます。

隣近所の家族と観るのも良いでしょう。もしくは子どもの友だちをつれて行くのもいいと思います。

(2) 映画に関する情報を交換する

これから観る映画に関する情報を集めてみましょう。内容だけでなくその映画を作った監督は以前どんな映画を作ったのか、またこれから観る映画と似ている映画があるのかも調べてみましょう。

(3) 映画鑑賞前後のスケジュール

映画を観た後、または観る前に食事、または軽食をするかなどを決めます。

(4) 時間設定及び予約

最近では映画観覧料を割引してくれるクレジットカードが多いです。家族が持っているクレジットカードを確認してみてください。しかし、家族みんなで観ることができる週末や休日の映画館はいつも混雑しています。インターネットサイトなどを利用して予約すると便利に観ることができます。

2. 鑑賞

最近、多くの映画館では最新の音響システムを取り揃えています。家では感じられない映画館ならではの魅力にはまってみてください。しかし、映画鑑賞の間に会話をしたり、たくさん何かを食べることは集中力が落ちることはもちろん、隣りの人に迷惑になる場合があります。

3. 映画鑑賞後のスケジュール

(1) 食堂またはカフェ、家に集まって映画を観た感想を話してみましょう。

テーマは何だったのか、主人公の幸せのカギは何なのか、そして映画に出ていたものの中で真実のことでないことなどを分けてみましょう。

(2) 日記帳、あるいは自分だけの映画ノートを作って、今日観た映画に対する評価や感想を記録しておく、その映画は一生あなたのものとして残るでしょう。

(3) 次の映画鑑賞の日にちやどんな映画が観たいのかを決めます。

ちょうど(Just)、今(Now)、ここ(Here)で 起こっている世界で一つだけの事件現場に あなたを招待します！

世界の多くの劇場で同時多発的に上映されるような映画はもう要らない！あなただけの、あるいはあなたと一緒にいるごく少数の人たちのためだけの特別な時間が始まります。幕が上がる！演劇が始まる！！

予備観客に教える演劇の4つのメリット！

1.選ぶ楽しみがある

ぼっと上映される映像だけを見つめる受動的な態度から、自分がどんなものを見るかを瞬間毎に決める能動的な態度で一大転換がある。舞台上の全てがあなたの選択を待っている。じゃ、何から見ようかな。

2.想像賛美

誰もいない舞台の上で俳優たちのいくつかの台詞や動作で空っぽの空間は宇宙に変わる。わが家族みんなの想像力のビタミン、それは演劇に秘訣がある。

3.一発で終わる

2次元の平面映像を超え、生き生きとした3次元世界の芸術の宝庫である。美術、音楽、ダンス、衣装、彫刻、建築など、全ての芸術が集まって一つになった立体芸術における芸術鑑賞の全て、一発で終わる！

4.人生の意味を感じることができる芸術

短編的な映像が主流である時代の中で私たちの考えも単純になる。お互いの言葉と会話の中で人間の意味、人生の価値などをじっくり考えることができる時間芸術が演劇である。会話が少なくなる時代の中で対話芸術の極致、演劇を経験してみよう。

百聞は一見にしかず！

それじゃ、演劇を味わってみようか。

まず、今公演されている演劇の情報を集めよう。情報の宝庫であるインターネットサイト www.artcenter.co.kr または <http://www.artsbank.or.kr> に接続して今公演されている演劇のリストと簡単な作品紹介を読んでみよう。各作品紹介は時々劇団のホームページにリンクされている場合があるので参考にしてみることに。

作品が決まったらいざ大学路に出発！そしてチケットを手に入れる方法としてもっとも安く手に入れられる方法はサランチケットの購入が一番！大学路のマロニエ公園の片隅にあるサランチケット販売所で購入できるサランチケットは12,000ウォンと8,000ウォンの2種類で、ここでの販売価格は7,000ウォンと5,000ウォンである。つまり、サランチケットがあると、12,000ウォンの演劇を7,000ウォンで見られるのである。

しかし、一日限定数量販売であるため、平日ならまだいいが週末には急がないと買えない場合があるので注意すること（販売時間1時～7時、月曜日休み、お問い合わせ02-3672-2466）。

Tip

街中で割引券やピラを強制的に渡すような演劇は避けよう。これらはほとんどが演劇協会に登録されていない、作品のレベルを保障できない作品たちである。ギャグコンサートなどの作品も避けよう。文字通り笑って終わる公演である。

できれば公演時間に余裕を持って出かけよう。マロニエ公園をはじめ、大学路の隅々にある小劇場などを見物するのも楽しい。何よりも個性的な演劇俳優が多く通う所であって、人を見物するのも面白い。

劇場ならではの、入場前に列を並んで待ちながら色々な話をし、また演劇が終わった後、もし時間に余裕があったらカフェなどで家族やカップルと一緒に見た演劇の感想を話し合うのもいいでしょう。作品を選んでチケットを購入し、劇場周辺で時間をつぶし、演劇を見た後には話し合いの時間をもつという時間全てが一つの生き生きとした文化の体験であり、享有する時間である。この秋、心のゆとりを持つために家族みんなで大学路に出かけてみよう。

もし、作品選びが難しかったら、専門の人に助けを求めよう、
 박·준연 文化消費者運動運営委員 (adzzero@empal.com/011-9023-7376)

家族で 星観察と陶磁器作り体験

旅行地と日程

安城天文台 (www.nicestar.co.kr)
天文台のサイトで毎月の天文日程を知ることができる。
確認、予約してから日程を決める。



準備物

父：地図、カメラ、シート、経費（約10万ウォン）
母：防寒着、洗面道具、お弁当、お水、お菓子
私と兄弟：筆記道具、星座に関する本、帽子

交通

安城市内から天文台までは車で15分
-京釜高速道路下りを利用する時の注意事項
安城ICに着く前に新しく西安城ICができました。しかし、未完成の道路なので、利用できません。必ず安城ICを利用してください。

1. 京釜高速道路安城IC進入、または中部高速道路一竹IC進入
2. 安城市内から天安方向の23番国道に進入
3. 安城第2産業団地を過ぎる
4. クムファアパート（右側）を過ぎて700メートル前方
5. 標識"馬山里"方向に天文台立看板を挟んで右に曲がる
6. 表示板に従って進み、安城天文台到着
7. 安城天文台031-677-2245/本社02-777-1771/
安城天文台長011-9146-1422



その他の見物

朝、安城に到着して安城文化村で家族と一緒に陶磁器工芸を体験し、その後揺れる岩を訪れた後、午後には天文台で星観測をする。

・安城文化村（陶磁器工芸体験）031-673-4668（必ず事前お問い合わせすること）
安城金光湖の近くにある文化村は芸術家たちの創作のために作られた空間であって、般の人にとっては芸術を身近で鑑賞、参加できる機会を与え、芸術家たちにとっては作業空間を整えた集団施設である。さらに、住民のための芸術の展示及び安城市民が直接工芸、彫刻などに参加する体験芸術空間として利用されている。

安城のグルメ

韓国観光公社 (www.knyo.or.kr) のお勧めの店、'ソイル××' の伝統しょうゆ・味噌料理 (031-673-3171) と一緒に伝統のしょうゆ・みそ作りも見物である。

天文台見物

夜には天文台の天体望遠鏡で直接観察する。
気温の差があるので防寒着を必ず準備し、個人的に望遠鏡を準備するのも良い。

その他

中南米文化院

わが国の文化を離れ、変わった異国の文化のものが見たいなら、規模は小さいが、かわいらしい中南米文化院を訪れてみよう。中南米文化院は長年中南米で大使を務めたイ・ポクヒョン氏が1994年に建てた個人の文化院である。イ氏が外交官として生活をしながら集めた遺物と生活用品、その他に他人から寄贈されたものなどが展示されている。中南米文化院は博物館と美術館の二つの建物が中心になっていて、博物館には土器室、民俗工芸室、仮面室などに分かれ、中南米地域で発掘された1600点余りの遺物と民俗品などが展示されていて、中には南米のキリスト教文化を伺うことができる。建物の外の緩やかな丘には各種の調形物と憩いの場があって、つかの間の余裕を感じることができる。

訪問対象_小学生から青少年まで（10：00-15：00）、有料

交通_ソウル→39番国道→長興と龍美里公園墓地の入口を過ぎて左（バス利用可能）
（約1分程度徒歩）

電話番号_031-535-9291

ハーブの香りでストレスを解消する - ハーブアイランド

1万坪余りの広い敷地にある京畿道抱川郡新北面三正里ハーブアイランドは首都圏から少し離れてはいるが、日帰りで訪れることができる。以前はハーブといえば飴を作る材料としてしか認識されていなかったが、今は香り漂う植物としての認識が広まり、以前よりもたくさんの方がここを訪れるようになった。

ここではハーブ香り、ハーブ本、ハーブパンのお店、ハーブカフェ、ハーブレ스토랑など色々な空間が設けられている。さらに、ハーブの香りでいっぱいの食事をして、ハーブティーを飲んで、アロマセラピー体験室を利用することができる。そしてよく手が行き届いたハーブ農園は最高の見物であるといえる。

農園の見物が終わると、心身の疲れがとれるハーブの香りが漂う中で食事をしたり、お茶を飲みながら話の花を咲かせることもできる。

お問い合わせ_031-535-6498 www.herbisland.co.kr

秋を最も早く感じられるところ - 南山

少しは大変ではあるがソウルが一望できる、それで歩いた甲斐がある美しい南山の道。南山に登るためにあえてケーブルカーを利用する必要はないでしょう。ゆっくり話をしながら登ることができる一方通行道（もちろん車も通行するので子どもと一緒に歩く際には注意しなければなりません）と、ジャンケンをしながら一段ずつ上る石でできた階段道を利用すると、もっと秋の南山を楽しむことができます。頂上に着いたらソウルの秋を満喫することができます。そして帰りは南大門方向へ下りてみてください。植物園や動物園を見物することができます。

行き道_南山公園管理室02-753-2563に問い合わせすること
地下鉄3号線東大入口で下車徒歩

10分も経たないうちに部屋は笑い声でいっぱい



目的

家族で楽しめる代案文化が不足している現状において、家族でできる代案文化を見つけて楽しむことができるようにすることが目的である。

ゲーム名

ジェンガ (Jenga)

ジャンル

パーティーゲーム

ゲーム人員

8名まで

所要時間

20分

ルールがとても簡単で、誰もが簡単に参加できるゲームです。

木でできている54個の直六面体のブロックを使って塔を建ててから始めるゲームです。初めての人は“これってゲーム？”と嘲笑する人がほとんどであります。しばらくするとジェンガの魅力にはまり、“これ、ドキドキする!!”という人がほとんどです。これはジェンガをしたことがある人なら、共感するでしょう。

じゃ、家族たちと一緒にやってみてください。10分も経たないうちに部屋は笑い声でいっぱいになるでしょう。

資料出典：<http://zeromarket.korea.com>

家族と一緒に書店に行く

1. 購入する本を3冊以内で決める。
 - インターネット書店を利用して本を検索し、その内容も事前に確認する。
 - インターネット書店
 - キョボ文庫 www.kyobobook.co.kr
 - アラディン www.aladdin.co.kr
 - モーニング365 www.morning365.com
2. 一緒に行く書店を決める。できれば地下鉄とバスを利用する。
 - 地下鉄路線表を与えて、子どもが決めるようにする。
 - 書店に向かう間に家族で本について話をしたり、また子どもたち同士の会話に関心を持って聞きながら子どもたちが何に関心を持っているかを把握する。
3. 書店に着いたら、本がどのように分類されて置かれていて、どこにあらかじめ決めた本が置いてあるのかを教えてあげる。
4. 本を購入してからは、後で待ち合わせする時間と場所を決めて、それぞれ本を見て探索できる時間を与える。
5. 購入した本を読んで、その本の感想をみんなで話し合い、その後、読書カード、読書日記などで整理するようにアドバイスをする。
6. 準備物：購入する図書目録表、地下鉄路線表、筆記道具

きれいなメディアのための教師運動、キョンファ女子中学校教師
キム・ジテ

代案文化紹介
書店に行く

文学はお互いが共感できる ‘私たちの話’

テレビを消すと禁断症状を起こす家族がいる？

特に子どもたちが面白がるアニメ番組や娯楽番組が終わると、体をねじりながらあっちこっち用もなく歩き回る姿を見る親のもどかしさはどうする術もない。何をすればいいのか、どのようにすれば子どもたちが自意識を持った子どもに育つのか、そしてどうすれば家族みんなが有意義に幸せの時間を送ることが出来るのか。

ここで、文学を活用してみることを勧める。文学は人類の最も原始的な人生を形成してきた芸術の一つである。たとえば話がそうである。人は誰でも話をする。しかし、その話が小言、でたらめな言葉、雑談などで時々邪魔されたり、口数が少ない方が上品な人であるという文化的慣習において消失の危機を迎えている。文学は自分の話をうまくすることから始まる。文学はお互いが共感できる‘私たちの話’であって、文学を活用すると家族間の愛のコミュニケーションにも大きな影響を与える。

話をする

テレビで見た番組について話す

番組の中の事件、人物（主人公、周辺人物）などを様々な角度から見て話す。
（人物に関するものなら、主人公はどう思っているのか、何故主人公はあのように行動したのだろうか、周辺人物は主人公をどう思っていたのか、もし自分ならどうしただろうか、もしあなたならどうしたと思うかなど、役割を変えて話してみる）

文学作品で読んだ内容を話す

家族で一つの作品を読んで、作品のストーリーをお互い話す（最初は母から話したら、二つ目の段落は長男（長女）が、その次は次男（次女）が、そして最後は父が話を完成させる）。

新しい話を作る

家族がすでに知っているテレビや文学の作品ではなく、新しい話を作る作業である。家族で一緒に状況を設定する。

たとえば、川の近くにある木の話をするとして。母はポプラの木、父は風、長男は偶然通り過ぎる旅者、次男は太陽、または月。それぞれは木に話しかけたり、木の独り言を聞いて返事をしたり、木とそれぞれの役が会って起こる状況を作っていく。

朗読する

文学作品の中で感銘を受けた内容を朗読する

家族がそれぞれ読んだ文学作品（詩、小説の一段落、童話、童詩、随筆など）を家族が集まった席で朗読する。その時音楽を添えて照明を調節すると、さらに良い雰囲気が演出できる。ロウソクを立てたり、アロマの香りを漂わせると、もっと良い詩朗読会になるだろう。

立体的に朗読する

まるで連続劇を声優が朗読するように作品の一部分をすることもできるし、家族が直接書いたシチュエーション短幕劇などを家族で役割を分担して読む。その時、役割のイメージを生かして感情を込めると面白くて楽しい家族劇になる。録音しておく、後で朗読の完成度をさらに高めることができる。

さらに、家族がそれぞれ朗読会の背景を作る。父は録音担当、母は照明担当、長男は効果担当、次男は…、それぞれに合うものを一緒に探してみよう。

室内を飾る

詩画展

室内を家族の作品で飾る。たとえば、壁面に春、夏、秋、冬の四季を考慮してそれぞれの季節に合う詩や文学作品から引用した短い内容をみんなで絵にする。詩朗読会で撮った写真を一緒に飾ると、いい思い出になるだろう。

テーマ詩画展

家族で特定のテーマ、たとえば家族の愛を表現する作品、ほめられたエピソード、社会問題、環境汚染、家族の願い、自分自身のビジョンなどを短い言葉と共に絵や写真などで室内を飾ってみると、無言のコミュニケーションができる。

各市・郡区庁のホームページを子どもたちと一緒に見て、必要なプログラムを探してみましょう。各種文化行事とデジタル（e-book, CD, 映画など）資料が取り揃えていて、市民たちが便利に利用できます。また、地域新聞とデパートの文化センターのホームページや新聞などを通じて地域文化行事や文化に関する様々な講義を無料、または安い費用で利用できます。

テレビ視聴日記を書く。

- 昨日、あるいは先週一週間視聴したテレビ番組を中心にテレビ視聴日記を書いてみよう。(必ず感想も書こう。)



2004年 月 日 天気

視聴した番組名

Large empty rectangular area for writing the name of the TV program watched.

- 家族は上の日記を読んで、アドバイスのことばを書いてみよう。

Large empty rectangular area for writing advice from family members.

キリスト教倫理実践運動文化消費者運動本部は、

社会の様々な文化現象を観察・分析・診断し、適切な代案を提供することで、健全な市民社会の形成に寄与し、教会がすべき役割を支援することを使命としています。

そのために次のようなことを行っています。

教会の青少年に対するメディア教育

子ども指導のための親のメディア教育と講師養成

家庭及び学校、教会で活用できるメディア教材の発刊

健全な文化環境整備のための制度改善運動

健全な文化環境整備のための各種キャンペーン活動

キリスト教倫理実践運動

ソウル龍山郵便局私書箱271号 電話番号02.794.6200 e-mail simple@cemk.org ホームページ www.cemk.org